科目ナンバリング	U-LAS27 20002 SJ48						
授業科目名<英訳>	朝鮮語IIA（演習） K2201 Intermediate Korean A			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　郭　旻錫		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金4	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

朝鮮語コースの目的は、「朝鮮半島および日韓・日朝関係を文化的・社会的・歴史的な側面において理解し、東アジアにおいて生きていくための自分なりの世界観を身につけるための語学教育」（世界観養成語学教育）である。広義においては「異文化理解」となろうが、単に「異なる文化」を「理解」する、という意味ではなく、自明のものとされがちな「自文化」を相対化し、近接した他者との複雑な関係性のなかでそれを解釈したうえで、今後自らが朝鮮半島とどのような関係をアクチュアルに構築すべきかを考究するために必要な、最低限の語学力を養成することが目的である。
この授業では、映画・ドラマ・ニュース・バラエティー番組などの映像資料を用いて、朝鮮語の総合的なコミュニケーション能力を養う。なお、視覚情報・音声情報を通じて、韓国社会に対する総合的な理解を図る。
【注意】 本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に大韓民国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。

[到達目標]

①朝鮮語の音が聴き取れるようになる。②韓国の文化について知りながら、コミュニケーション能力を養う。

[授業計画と内容]

毎回の授業は、次の順番で進められる。①映像資料を視聴する。②スクリプトをみながら、語彙・文法・表現の学習を行う。③再度映像を視聴し、学習した内容の実際の運用方法を身につける。

第０１回　イントロダクション
第０２回～第１３回　映像資料の視聴・学習
第１４回　全体のまとめ
≪定期試験≫
第１５回　フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点（４０％）および定期試験（６０％）によって行う。なお、「平常点」とは、「出席点」のことではないので注意すること。「出席点」という概念はない。 平常点の詳細については授業中に指示する。

朝鮮語IIA（演習） K2201(2)へ続く↓↓↓

朝鮮語IIA（演習） K2201(2)

[教科書]

使用しない
プリントを配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業で学習した内容を、実際のコミュニケーションで運用してみること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]